

グリーン調達

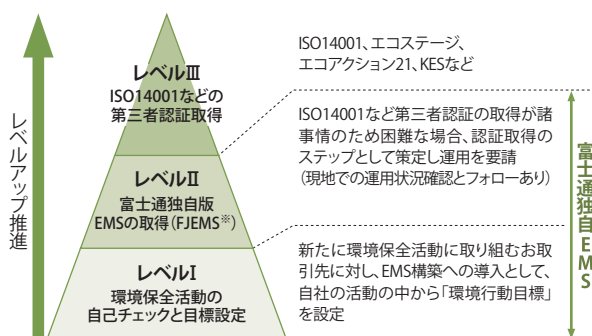
お客様に環境効率の優れた製品・サービスを提供するために、お取引先のご協力のもと、生産用部材からソフトウェア・サービスまで、グリーン調達を推進しています。

グリーン調達の考え方

富士通グループは、地球環境に配慮した部品・材料や製品を優先して購入するグリーン調達に関して、基本的な要求事項を「富士通グループグリーン調達基準」として策定し、お取引先とともにグリーン調達活動を推進しています。

 富士通グループグリーン調達基準
<http://procurement.fujitsu.com/jp/green.html>

グリーン調達におけるEMS構築



※ FJEMS
Fujitsu group environmental management systemの略。富士通グループ独自のEMS。

グリーン調達活動

富士通グループは、第5期環境行動計画におけるグリーン調達活動として、以下の2つの活動を推進しています。

お取引先の環境マネジメントシステム(EMS)の高度化

第5期環境行動計画では、お取引先の環境マネジメントシステム(EMS)の高度化を推進することを目標としています。お取引先における環境負荷低減活動をさらに推進するため、「EMSレベルアップ説明会」などを通して、お取引先に「第三者認証取得」や「FJEMSの構築」などEMSのレベルアップをお願いしています。

具体的な目標として「部材系のお取引先が運用するEMSをレベルIII以上にする」を掲げて取り組み、2008年度までに92.9%を達成しました。

お取引先の含有化学物質管理システム(CMS)の構築

第5期環境行動計画では、お取引先の含有化学物質管理システム(CMS^{※1})の構築を目標としています。サプライチェーン全体における含有化学物質の適正管理のため、JGPSSI^{※2}が作成した「製品含有化学物質管理ガイドライ

ン」に基づきCMSの構築を要求・支援し、源流管理を重視した含有化学物質の管理を強化しています。

具体的には、部材系のお取引先を対象にCMSの構築状況を監査するとともに、管理体制が不十分な場合は支援を実施しています。2008年度までにCMSが適切に構築されたお取引先は97.6%となりました。今後も、説明会や定期監査などを通して、お取引先に源流管理の大切さを訴え、サプライチェーン全体の含有化学物質管理レベルの向上を図っていきます。

- ※1 CMS
Chemical substances Management Systemの略。
- ※2 JGPSSI
Japan Green Procurement Survey Standardization Initiativeの略。
グリーン調達調査共通化協議会。

グリーン調達の強化を通じた Green Policy Innovationの推進

2007年12月に発表した「Green Policy Innovation (グリーンIT提供によるお客様の環境負荷低減)」を実現するため、グリーン調達のなかでお取引先に優れた環境技術や材料を提案していただき、それらを評価・検討したうえで設計開発部門にタイムリーかつ横断的に採用提案する活動を開始しました。

2008年度は、提案収集の仕組みと社内評価体制、提案データベースを構築しました。お取引先からいただいた提案のなかには、すでに次期開発製品への採用に向けた詳細評価を実施したものも出始めています。今後も優れた環境技術や材料を積極的に採用し、環境性能の優れた製品開発を推進していきます。

「Green Policy Innovation」実現のためのインフラ構築

